

(9) 樹木類(木本植物)

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
うどんこ病	トップジンM水和剤※	チオファネートメチル水和剤	1		1000倍	200～700 μ g/10a	発病初期	散布	5回以内
	トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	3		3000倍	200～700 μ g/10a	発病初期	散布	5回以内
枝枯細菌病	ペンコセブ水和剤	マンゼブ水和剤	"UN(I*)		600倍	200～700 μ g/10a	新梢伸長期～発病初期	散布	4回以内
切り口及び傷口の 癒合促進	トップジンMペースト	チオファネートメチルペースト剤	1		原液		剪定整枝時、病患部削り取り 直後、及び病枝切除後	塗布	5回以内
炭疽病	トップジンM水和剤※	チオファネートメチル水和剤	1		1000～2000倍	200～700 μ g/10a	発病初期	散布	5回以内
	ペンコセブ水和剤	マンゼブ水和剤	"UN(I*)		600倍	200～700 μ g/10a	発病初期	散布	4回以内
斑点症(シュートサウズ ボラ菌)	トップジンM水和剤※	チオファネートメチル水和剤	1		1000倍	200～700 μ g/10a	発病初期	散布	5回以内
	ペンコセブ水和剤	マンゼブ水和剤	"UN(I*)		600倍	200～700 μ g/10a	発病初期	散布	4回以内
輪紋葉枯病	トップジンM水和剤※	チオファネートメチル水和剤	1		1000倍	200～700 μ g/10a	発病初期	散布	5回以内
アザミウマ類	オルラン水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000倍	200～700 μ g/10a	発生初期	散布	5回以内
アブラムシ類	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	200～700 μ g/10a	-	散布	6回以内
アメリカシロヒトリ	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		500～1000倍	200～700 μ g/10a	-	散布	6回以内
	ダイアジノン水和剤34	ダイアジノン水和剤	1B	劇	1000～1500倍	200～700 μ g/10a	発生初期	散布	4回以内
	トアロー水和剤CT	BT水和剤	11A		1000～2000倍	200～700 μ g/10a	発生初期	散布	-
	ニトラー<アメシロ>	フォルウェブルア剤			直線使用(街路樹な ど)40m当り1個以上 面使用(公園など)10a		成虫発生初期から発生後期 成虫発生初期から発生後期	本剤をトラップ1台当り1 個貼付け、地上1～6m の高さに設置する。 本剤をトラップ1台当り1	
オオハシチュウ	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		500倍	-	移植前	30分間根部浸漬	1回
オビカハ	トレボン乳剤	イトフェンプロックス乳剤	3A		2000倍	100～700 μ g/10a	幼虫発生期	散布	6回以内
ゲンバムシ類	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	200～700 μ g/10a	-	散布	6回以内
ケムシ類	スティンガーフロアブル	フルベンジアミド水和剤	28		8000倍		発生初期	散布	2回以内
	トレボン乳剤	イトフェンプロックス乳剤	3A		4000倍	100～700 μ g/10a	幼虫発生期	散布	6回以内
ケムシ類(若～中齢幼)	デミリン水和剤	ジフルベンスロン水和剤	15		4000～8000倍	200～700 μ g/10a	-	散布	3回以内
シャクトリムシ類	トレボン乳剤	イトフェンプロックス乳剤	3A		4000倍	100～700 μ g/10a	幼虫発生期	散布	6回以内
トビモンオオダシヤク	バシレックス水和剤	BT水和剤	11A		500～1000倍	200～700 μ g/10a	発生初期	散布	-
ハダニ類	バロックフロアブル	イトキサゾール水和剤	10B		2000倍	200～700 μ g/10a	発生初期	散布	1回
フタバウジウシ	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	200～700 μ g/10a	-	散布	6回以内

※ つつじ類、じんちょうげ、ぼけの使用量は100～300 μ g/10a